

京都大学化学研究所  
共同利用・共同研究拠点

化学関連分野の深化・連携を基軸とする

先端・学際研究拠点

# 平成 29 年度 アンケート調査報告書



2018.6.1

京都大学化学研究所  
化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際研究拠点  
平成 29 年度アンケート調査報告書

京都大学化学研究所は、平成 22 年度から平成 27 年まで文部科学省が定める「化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際研究拠点」として国内外の共同利用・共同研究を推し進め、それを新たな糧としてより多様でグローバルな科学研究の展開と若手研究者の育成・排出を図って参りました。平成 27 年度に行われた期末評価では、この拠点活動が S 評価と認定され、本拠点は平成 28 年度から 6 年間の第二期の活動を行っております。

平成 30 年度以降の計画においても化学関連コミュニティに資する拠点としてさらなる活動を行う準備の一環として、化学関連コミュニティのメンバーからご意見を伺う目的で、平成 29 年度終わりに、本拠点平成 28 年度、29 年度共同研究課題の代表研究者の皆様次ページに示すアンケートへの回答をお願いしたところ、多くのご意見を頂戴いたしました。この意見を 4 ページ以降にまとめます。化学研究所教員は、これらのご意見を参考として、平成 30 年度の現拠点および今後の拠点の活動を一層活性化するよう努力を行う所存です。

平成 30 年 6 月

化学研究所

所長 辻井 敬亘

共同研究ステーション長 寺西 利治

京都大学化学研究所

化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際研究拠点

平成28、29年度共同研究課題の代表研究者の皆様

日頃より、標記拠点の活動に多大なるご助力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様のお力添えで、平成28年度から開始された本拠点第二期の活動は大きな成果を挙げております。

さて、平成30年度以降の拠点活動において、皆様のご意見を反映することで、これまで以上に実りあるものとしたく存じます。

つきましては、皆様が共同研究課題の代表研究者をお務め下さった平成28年度、平成29年度の拠点活動に関して、次頁以降に記載の項目に評点と忌憚のない自由なご意見を記入下さり、拠点共同研究推進室 ([icr-hub@scl.kyoto-u.ac.jp](mailto:icr-hub@scl.kyoto-u.ac.jp)) あてに返送下さいませんか。評点は、最も高いものを5として、1～5の5段階評価でお願い致します。なお、皆様に評価をして頂く際に参考となると思われる平成28年度成果報告書は、下記拠点ホームページに掲載されていますので、ご覧くだされば幸に存じます。

<http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/wp-content/uploads/hokoku28.pdf>

ご多忙中、誠に恐縮ですが、3/2(金)までに、上記推進室あてに評点とご意見を記載頂いたファイルをご返送下されれば幸甚に存じます。

文末となってしまいましたが、今後とも化学研究所の拠点活動にお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

化学研究所

拠点 共同研究ステーション長

寺西 利治

平成 28、29 年度京都大学化学研究所拠点 評点シート

お名前： \_\_\_\_\_ ご所属： \_\_\_\_\_

評点の欄には、○をご記入ください。

項目 1： 拠点の施設・設備について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

項目 2： 共同研究ステーションの運営について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

項目 3： 共同研究課題の公募・採択の状況について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

項目 4： 共同研究課題の成果発信の状況について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

項目 5： 所外の研究者の皆様への支援の状況について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

項目 6： 拠点の財務状況について

	評点				
	5	4	3	2	1
評 価					

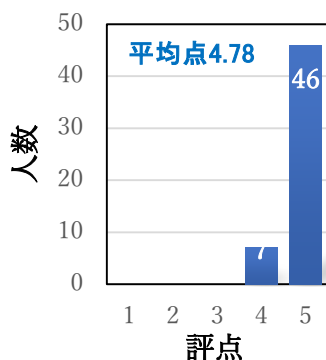
ご意見：（前記項目またはそれ以外の項目について、お気づきの点があれば、忌憚のないご意見を自由にご記載下さい）

## 評点およびご意見のまとめ

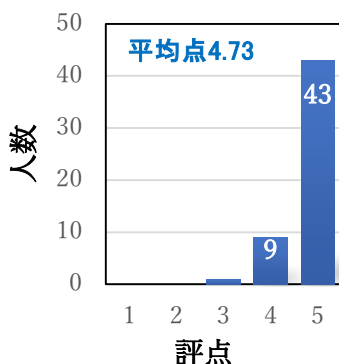
以下に、本拠点平成 28 年度、29 年度共同研究課題の代表研究者の皆様から頂いた評点とご意見をまとめます。なお、ご意見の中で研究代表者のご指名と所属、あるいは、化学研究所における研究分担者の氏名が特定される記述につきましては、この特定が生じないように、ご意見の内容を変えない範囲で適宜文言の変更を行っておりますことをご了承ください。

### 評点のまとめ

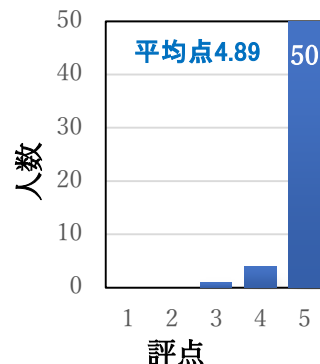
項目 1：拠点の施設・設備について



項目 2：共同研究ステーションの運営について



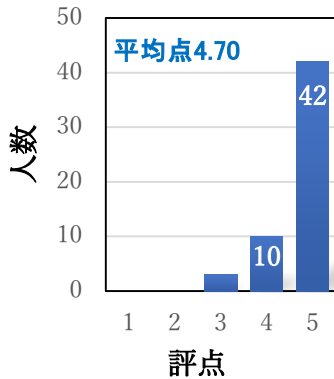
項目 3：共同研究課題の公募・採択の状況について



項目 4：共同研究課題の成果発信の状況について



項目 5：所外の研究者の皆様への支援の状況について



項目 6：拠点の財務状況について



## ご意見のリスト

- ・ 所属が変わり、研究設備が整わない中でのスタートをバックアップして頂きました。共同研究により、研究基盤をしっかりと作ることができました。また、その成果をもとにした研究計画で、科研費を獲得することができました。〇〇先生をはじめ、拠点事業に関わるスタッフの方々に心からのお礼を申し上げます。有難うございました。
- ・ 各年度の報告書の PDF が [http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/research\\_activities/joint\\_research/](http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/research_activities/joint_research/)にてアップロードされているが、100MB 以上とたいへん重く、内容を閲覧しづらい。全報告書を 1 つにしたファイルがアップロードしてあっても良いが、課題別に報告書ファイルをアップロードしても良いのではないかと。つまり年度ごとに報告書のページを設け、そこに課題ごとの報告書ページ（ファイルリンク）を設けてはどうか？
- ・ 特に項目 5 および 1 につきまして、ご担当の〇〇先生、〇〇先生より惜しみないご協力とご助言を賜りました。化研独特の垣根の低いフランクな雰囲気の中で、装置の活用推進に加えて有意義なディスカッションをさせて頂けたことに、申請者一同深く感謝しております。  
敢えてご提案させて頂くとすれば、非常に些細な内容で恐縮ですが、化研HPより本件の関連サイトへのリンクを見つけるのがやや難しく感じます。サイト最下部にバナーがあるため目立たない印象があり、トップや左右の空隙部等見やすい位置に移したりしますと、より多くの方が閲覧しやすくなるのではと感じました。リンク先の情報が充実しており魅力的なだけに、少し勿体なく感じる場合がございます。
- ・ 共同研究課題を採択していただき、誠にありがとうございます。研究室を立ち上げたばかりの身にとって、大変ありがたい制度であり深く感謝しております。貴拠点の素晴らしい先生方との共同研究は刺激的であり、また充実した設備を活用させていただくことは小規模私立大学の教員としては本当に助かっております。貴拠点の益々の発展に少しでも貢献できるように努力してゆく所存です。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。
- ・ 大学院生が伺って装置を利用しての研究を実施できることが、とてもありがたく思っております。指導いただきます受け入れ教員の先生方だけでなく、研究室の大学院生の方とも交流ができ、研究面のみならず、それ以外にも様々な点で、刺激をいただけることがこの事業の良いところかと存じます。  
研究財政的には、日本全体にむつかしい時期に来ております中、京都大学のご努力でかなり十分な支援体制をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

- 化学研究所の設備などは利用させていただいていないので、わかりません。
- 貴研究所に採択された研究を実施するに際して、研究費支給は大変役立っております。  
今年度の成果の一部は国際学会で発表させていただきました。今後とも、研究にご理解いただき採択していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 化学研究所共同利用研究として、T6 レーザーで非常に貴重な実験をさせて頂いており、大変感謝しております。  
また、出版準備中のリチウム電池に関する単行本の一つの章で、〇〇研が本共同研究の成果を紹介されます。  
超高出力レーザーは量子科学研究機構や阪大レーザー研に設置されていますが、それらの施設での実験に至るまでの基盤要素研究および高強度レーザー科学の発展には、稼働性の高い高強度レーザー施設が極めて重要です。世界的にもこのような施設は十分ではなく、我が国では貴拠点の施設がその重要な役目を大きく果たされています。高強度レーザー科学のさらなる発展のために、貴拠点には今後、施設・設備のさらなる整備充実（レーザー強度の増強、照射系の増設、技術員の配置など）をされることを期待いたします。
- 特にございませぬ。
- アンケートは WEB 上でできるようになると良いです。
- 京都大学化学研究所と自由闊達な共同研究ができることは、所外研究者にとって大きなメリットがあり、実際に成果報告書を見ても研究成果によいものが挙がっていると思われまゝ。
- 京都大学化学研究所の「化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際研究拠点・II 期」の共同利用共同研究課題研究代表者として大変お世話になっております。27 年度までの I 期が S 評価との認定も拠点運営委員の皆様のご尽力によるものだと理解しており、第 II 期に繋がりましたこと、大変嬉しく思っております。施設・機器共同利用型におきましては、研究遂行上の必須の活動拠点と施設となっております。  
ICRIS 国際会議の開催やシンポジウム（有機元素化学セミナー等）で集う研究者との交流も、京都を拠点として化学関連コミュニティ形成に繋がっていると感じています。  
さらに、機器共同利用の担当教員の〇〇先生、ならびに〇〇先生には、大変懇切丁寧にご助言を頂き、沢山の研究遂行上必要ご指導を賜りましたことも感謝致しており、本拠点事業の特色でもあると感じております。

若手研究者や私立大学からの申請課題のさらなる支援・採択も考慮に入れて頂けますと、化学分野の裾野の拡大と重厚化に繋がると期待できます。一方で、規模の拡大は拠点事業運営に携わる教員職員の方々のご負担を増やす事ともなり、また課題あたりのリソース（予算含む）も減りますので、バランスが大切かと存じます。いわゆるユーザーが貴研究所に貢献し、より大きな枠組みでの政府系予算が充当される事を期待したいと思います。

来年度以降の拠点活動におかれましても益々のご発展をお祈り致しますと共に、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

- ・ 京都大学化学研究所では、最先端の設備が利用できるだけでなく、最高レベルの教職員・技術スタッフの支援を得ることができ、大変ありがたい。

- ・ 学生の旅費などの実費を補助して頂き、非常に助かっております。また装置もある程度自由に使用させていただいているので、研究も大きく進むこともあります。

今後も継続的に支援をお願いしたい。

- ・ 共同研究課題の遂行にあたって、貴研究所の施設や共同研究費を柔軟に使用できるのでとても助かっております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・ 大変お世話になり感謝申し上げます。

- ・ 本拠点活動では我々の研究をご支援いただき大変感謝しております。

支援内容に関しましては満足しておりますが、さらなる改善のためということで、下記に希望する点を述べます。

項目 1 : 施設設備については、当方が所有していない様々な装置を使用することができて、非常に助かりました。また十分なマシンタイムと、使用の際はいろいろと実験的なご協力をいただき、大変感謝しております。

項目 2 : 利用者が共同研究ステーションとコンタクトするのは申請時と報告書提出時くらいかと思いますが、迅速にご対応いただいています。実際の実験装置使用、予算の実施などについては受け入れ先の研究室の方のご協力の下スムーズな運用ができています。



項目 5 : 支援状況についてもとくに問題ないと思います。近隣に宿泊施設がないので、簡易的なもので良いのでゲストハウスがあるとマシンタイムの有効な活用が可能になると思います。

項目 6 : 申請額が減額されるのはちょっと残念ですが、消耗品の購入や旅費などたいへん助かっています。大変有意義な拠点活動だと思いますので、ますます拡大していただければと思います。

- とても使い勝手が良いので、毎年お世話になっております。今後も引き続きよろしく願いいたします。
- 共同施設は充実しており、またご対応いただいている先生には多大なご支援をいただき非常に助かっています。しかしながら近年京都近郊の宿泊施設の予約が取りにくいので、東大物性研や東北大金研のようなゲストハウスが構内にあると助かります。
- 素晴らしい装置と手厚いサポートに心より感謝を申し上げ、今後も活動が継続することを期待します。
- 本プログラムは、大変魅力的であり、実際に研究を推進する上で、共同研究環境も充実している。特に、共同研究をより緊密に行うよいきっかけとなっているように思われる。一方、プログラムの期間が一年と非常に短期間であるために、成果を出すためには、大胆な研究計画を提案しにくいと思われる。

項目 1 : 化研内共同研究者の〇〇教授の所有する、FT-IR, フィルムバランスを始めとする設備を利用した研究を行ったが、パフォーマンスなどの点で十分満足できるものであった。

項目 2 : 様々な連絡事項を始め、研究に必要な情報を滞りなく伝えていただいた。ステーションの運営がしっかりしていることを感じた。

項目 3 : 私の場合、継続研究に理解をいただき採択していただいた。大変ありがたく思っている。

項目 4 : 成果発信は学会発表のほか審査付き論文に公表することもできたが、国際的なジャーナルへの発信が未完であることから評価を 4 とした。

項目 5 : 十分支援していただいた。

項目 6 : 外部の人間なので化研の財務状況は分からないので、ここは評価を記していない。

その他 : 金額は少なくとも良いので (5 ~ 10 万円) 化研内の共同研究者との研究打ち合わせ旅費に限定した支援があればいいのではないかと思う。

- 本共同研究では、酵素反応生成物の精製および MS と NMR による構造解析で大変お世話になりました。本課題のおかげで化研の様々な分析機器を利用させていただき、目的とする化合物の構造決定を達成することができました。

化研に設備、特に MS と NMR は大変精度が高く、安心して利用させていただくことができました。

- 特にございませ

- H28 年度に採択していただき、超電導磁石型フーリエ変換質量分析装置 (FT-ICR MS) による高分解質量分析を利用させていただきました。

採択していただいた経費で、当時の 1 日分の利用料金を支払って終了しました。今年度から利用料金を抑えていただけておりますので、以前と同程度のご支援をいただければ、頻度よく利用させていただけるのではないかと考えております。

今後もしもご支援の程、よろしく申し上げます。

- 特に気付いた点はありませんが、共同研究課題に採択していただき、多くの成果を挙げることができました。たいへん感謝しております。特に公立大学では大型機器が自力で調達することは困難です。この研究課題を通じて大型機器を利用させていただき、たいへん助かりました。

- 貴研究所〇〇教授との共同研究を実施させていただきまして誠にありがとうございます。共同研究を進めるに当たり、異なる視点からの活発な議論を行うことができ、大変ありがたく思っております。また、本学では分析・測定が困難な場合にも、本共同研究を通じて、ご支援いただけることに感謝しております。

お互いの強みを生かした真の意味での共同研究に発展できるよう真摯に取り組んでまいります。今後ともご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

- 個別課題に対して、多大な予算を配分していただき共同実験が行えることは非常に素晴らしいと考える。ぜひ来年度も継続で研究させていただきたく、サポートについても継続していただきたい。

訪問させていただく前に実験環境の確認と整備していただいていると伺い感謝しております。

- 本支援により、研究をおおいに推進させることができ、大変感謝しております。こうした取り組みが、今後も継続されますこと心より願っております。
- 私は本拠点の運営等について、非常に感謝しております。サポートも充実していると感じます。今後も是非、変わらぬ運営をお願い致します。